



町長のしごとと日記

第79号

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【春の桜を愛でる日常を願う・・・】

秀峰大千軒岳には多くの残雪がありますが、町内ではあれだけあった雪が姿を消し、道端に春の訪れを告げる草花が芽を出し始めております。

長く続いていた「まん延防止等重点措置」が三月二十二日で全面解除となりましたが、オミクロン株の派生型で、より感染力の強い、「BA・2型」に置き換わりが進み、ゴールデンウィーク明けに拡大が強まると専門家の方々が注意を促しております。

桜の季節となり松前城の桜が咲く頃には、木古内までの自動車道の開通と相まって、多くの花見客が訪れることが予想されます。また、福島町でも四月二十九日(金)から青の洞窟をめぐる岩部クルーズの運航が始まりますが、現在すでに多くの予約をいただいております。

新型コロナウイルス感染

症も発生から三年目を迎え、国において様々な議論がなされておりますが、ゴールデンウィークを控え感染が拡大しないことを祈るばかりです。

例年四月は、全道規模の様々な団体の総会等が開催され、札幌市への出張が多くなります。

コロナ禍でここ二年間は、リモート会議や書面協議となり、対面での会議ができない状態でしたが、今年の四月は、まん延防止等重点措置も解除になり、ようやく本来の姿に戻りスケジュールが忙しくなっております。

四月八日(金)は、北海道漁港漁場協会第三十四期第四回役員会へ出席し、四月十九日(火)から二十二日(金)までは、北海道道路利用者会議定期総会、北海道道路整備促進協会及び北海道治水砂防海岸事業促進同盟並びに北海道防災協会の

通常総会、北海道漁港漁場協会第六十九回通常総会へ出席しております。

また、全道町村の総合的な連絡調整機関の北海道町村会が、創立から百周年を迎えることから四月二十一日(木)に「創立百周年記念式典」が北海道鈴木知事などの来賓や全道各地の首長

が参加して盛大に式典が挙行されました。当日は北海道町村会の第七十六回定期総会も開催され、四月二十六日(火)には、一般社団法人北海道治山林道協会の第一回理事会が開催されております。

これから六月以降にかけては、渡島総合開発期成会などの中央要望などがありますので、地元の要望の現に向けてしっかりと国や道へ届けてまいります。

浜では、春のウニ漁が解禁となり、養殖昆布の間引き作業も行われております。ウニは、この世情を反映し、高

値で推移していると伺っております。今年は、例年にも増して多くの雪が山間部に降り、福島川をはじめ各地の川から栄養源が運ばれることを期待しております。

平成二十八年から水産アドバイザーを務めていただいております山内繁樹さんが三月三十一日をもって

退任されております。山内さんには、私が町長に就任してすぐ道庁のロビーでお会いし、もう一度福島町で夢を実現しませんかと話したのがきっかけです。これまで陸上アワビ養殖の技術の確立など町の水産振興に多大な貢献をいただき、改めて感謝申し上げます。

古典の中庸の言葉に、「政治(まつりごと)を為すは人に在り」とあります。政治の根本は人であり、政治を行う人の如何でその真価が決まると言われております。良き政治、良き人でありたいものです。